

川辺地区 コミュニティ未来プラン

はじめに

南九州市では概ね小学校区（旧小学校区を含む）に一箇所ずつ20地区公民館を設置し、住民による地域づくりを進めてきました。しかし、人口減少や超高齢化が進む中で空き家や耕作放棄地、一人暮らし世帯が増加する一方で、若者世帯の減少や学校の統廃合など地域における課題は複雑化してきています。

これまで川辺地区公民館では5つの専門部を設けて、生涯学習の推進を中心に活動を進めてきましたが、地域課題を解決する話し合いについては、組織的には行っていませんでした。

そこで、令和6年度に簡易ではありますが、アンケートを通して住民の意識調査をしたところ、解決すべき課題が山積していることがわかってきました。これらの課題を解決するには、行政に頼るだけでなく住民自らが新たな話し合いの場をもち、できることから少しずつ解決を図る未来プランが必要だという結論に達しました。

今後はこのプランに基づいてまずは話し合いの場を設け、「住民の声が届く」「楽しく豊かな暮らしのできる」川辺地区を目指してまちづくりを進めていきたいと考えています。

令和7年3月

川辺地区公民館長 吉永正博

令和6年度の協議より

【めざす方向性】

- ①自治会と連携・協力できる地区公民館
 - ・自治会長が相互に意見交換のできる場を設ける
 - ・自治会から出た課題を解決するための話し合いの場を設ける
- ②歴史を守り、青少年育成に取り組む地区公民館
 - ・誰でも参加できる自由な青少年活動を企画する
 - ・川辺地区の特色を活かした活動を工夫する
- ③楽しさと活気を導く地区公民館
 - ・若者のアイデアを地域づくりに活かす
 - ・地区内で活動しているグループを応援する



基本方針

- ① 地域の課題を地区レベルで解決する組織を立ち上げる
- ② 若い世代を中心に持続可能な協議の場をもつ
- ③ 地区公民館と連携した10年計画作成に結びつける

川辺住民アンケート

令和6年8月実施
令和6年9月考察

各自治会（41）に10部配布し
役員経験者他
30代～70代に調査
回収数344／配布数410
＝回収率83.9%
（地区住民の約5%）

は30%を超えるものです。

	女	男	なし	総計
30未満	1	2	0	3
30代	8	7	0	15
40代	23	16	1	40
50代	24	32	11	67
60代	36	66	7	109
70以上	35	69	6	110
合計	127	192	25	344

「なし」は性別未記入（以下同様）

考察

344人の内、現在役員をしている方は43%、役員経験者は38%、残りの方は役員経験のない方です。できるだけ若い世代にもご協力いただきました。

[1] あなたは今住んでいる地域（自治会や地区）のことが好き（住みよい）ですか。

	女	%	男	%	なし	%	総計	%
住みやすい	102	80.3	159	82.8	15	60.0	276	80.2
住みにくい	14	11.0	19	9.9	3	12.0	36	10.5
わからない	17	13.4	19	9.9	7	28.0	43	12.5
合計	133		197		25		355	

※%は各数字を【女127人男192人なし25】で除して計算しています

考察

住みやすさは「生活が便利」「環境がよい」「人間関係が良好」をあげる人が多い反面、同じ項目を住みにくさとしてあげている人もいます。同じ川辺地区内でも住んでいる地域によって違うことがわかります。

空き家問題やゴミの分別に関する意見は多いですが、市全域の問題でもあり課題解決は難しそうです。

子どもの遊び場の意見では、乳幼児が母親と共に気軽に遊べる場所が近くに欲しいと感じているようです。

本地区は南九州市の中では生活の便利さは際立っているものの、高齢者や運転免許返納者にとっては移動手段の改善や買い物等の支援策は必要なのかもしれません。



[2] 川辺地区で生活するにあたっての課題は

	女	%	男	%	なし	%	総計	%
店が少ない	39	30.7	54	28.1	7	28.0	100	29.1
買い物不便	14	11.0	14	7.3	3	12.0	31	9.0
通院が不便	11	8.7	13	6.8	3	12.0	27	7.8
人付き合いがめんどろ	9	7.1	8	4.2	2	8.0	19	5.5
働く場所がない	13	10.2	34	17.7	7	28.0	54	15.7
娯楽が少ない	25	19.7	34	17.7	6	24.0	65	18.9
子どもの遊び場が少ない	41	32.3	44	22.9	7	28.0	92	26.7
空き家が多い	38	29.9	93	48.4	9	36.0	140	40.7
ゴミの分別がめんどろ	52	40.9	68	35.4	16	64.0	136	39.5
近隣の助け合いが少ない	3	2.4	15	7.8	0	0.0	18	5.2
地域に元気がない	22	17.3	35	18.2	4	16.0	61	17.7
特に課題は感じない	10	7.9	21	10.9	1	4.0	32	9.3
その他	5	3.9	11	5.7	1	4.0	17	4.9
合計	282		444		66		793	

※に同じ

[3] あなたのお住まいの地域（自治会等の組織）における課題は

	女	%	男	%	なし	%	総計	%
会費が負担	6	4.7	15	7.8	2	8.0	23	6.7
役員のなり手がいない	48	37.8	99	51.6	13	52.0	160	46.5
運営が難しくなっている	25	19.7	50	26.0	3	12.0	78	22.7
参加者が減っている	47	37.0	93	48.4	12	48.0	152	44.2
出方が多い	10	7.9	21	10.9	4	16.0	35	10.2
課題解決の方法がわからない	6	4.7	12	6.3	2	8.0	20	5.8
未加入者や脱退者が増えている	4	3.1	13	6.8	1	4.0	18	5.2
特にない	33	26.0	30	15.6	6	24.0	69	20.1
その他	7	5.5	10	5.2	1	4.0	18	5.2
合計	186		343		44		573	

※に同じ

考察

自治会によっては「役員のなり手不足」「参加者の減少」が課題になっています。しかし、特に問題点を感じていない自治会もあり、自治会内の話し合いを充実させるために地区としてできることはないのか検討する必要があります。

[4] あなたのお住まいの子ども会の現状は

	女	%	男	%	なし	%	総計	%
活動が難しい	35	27.6	78	40.6	13	52.0	126	36.6
活発に活動している	2	1.6	2	1.0	1	4.0	5	1.5
減っているがやっている	5	3.9	12	6.3	2	8.0	19	5.5
多いがあまりやっていない	2	1.6	8	4.2	1	4.0	11	3.2
活動をしていない(解散)	34	26.8	64	33.3	5	20.0	103	29.9
わからない	52	40.9	44	22.9	7	28.0	103	29.9
合計	130		208		29		367	

※に同じ

[5] 今後、子ども会はどのようになるのがよいと思うか

	女	%	男	%	なし	%	総計	%
少ないところは合併する	30	23.6	57	29.7	11	44.0	98	28.5
地区の青少年活動として	23	18.1	44	22.9	2	8.0	69	20.1
無理のない範囲で	53	41.7	68	35.4	15	60.0	136	39.5
楽しい活動を増やす	23	18.1	32	16.7	7	28.0	62	18.0
参加したい人が参加できる	16	12.6	27	14.1	4	16.0	47	13.7
地域の自然を活かす	23	18.1	24	12.5	2	8.0	49	14.2
伝統を取り入れる	15	11.8	20	10.4	2	8.0	37	10.8
子ども会は必要ない	4	3.1	17	8.9	0	0.0	21	6.1
わからない	21	16.5	24	12.5	3	12.0	48	14.0
その他	11	8.7	15	7.8	1	4.0	27	7.8
合計	219		328		47		594	

※に同じ

[6] 守っていききたい伝統的な行事等はどれですか

	女	%	男	%	なし	%	総計	%
平山太鼓踊り	25	19.7	34	17.7	3	12.0	62	18.0
自治会の太鼓踊り	16	12.6	31	16.1	4	16.0	51	14.8
地域の棒踊り	17	13.4	26	13.5	4	16.0	47	13.7
飯倉の田の神舞	18	14.2	32	16.7	2	8.0	52	15.1
永田の送り踊り	12	9.4	19	9.9	3	12.0	34	9.9
祇園祭	60	47.2	95	49.5	9	36.0	164	47.7
鬼火焚	26	20.5	30	15.6	2	8.0	58	16.9
二日市	86	67.7	132	68.8	15	60.0	233	67.7
各神社の行事	22	17.3	34	17.7	3	12.0	59	17.2
文化財めぐり	11	8.7	14	7.3	0	0.0	25	7.3
特になし	9	7.1	15	7.8	3	12.0	27	7.8
わからない	12	9.4	13	6.8	1	4.0	26	7.6
その他	7	5.5	15	7.8	2	8.0	24	7.0
合計	321		490		51		862	

※に同じ

[7] 川辺地区公民館のことをしていますか

	女	%	男	%	なし	%	総計	%
よく行く	6	4.7	22	11.5	2	8.0	30	8.7
行ったことはある	75	59.1	119	62.0	18	72.0	212	61.6
場所は知っている	31	24.4	40	20.8	2	8.0	73	21.2
場所も知らない	2	1.6	2	1.0	1	4.0	5	1.5
わからない	8	6.3	8	4.2	1	4.0	17	4.9
その他	4	3.1	7	3.6	1	4.0	12	3.5
合計	126		198		25		349	

※に同じ

考察

地区内の子ども会活動はできなくなっているところがかかなり多いことがわかります。各自治会ごとの組織では人数が減っていることや保護者の多忙化が原因のようです。楽しく活動できている所との差が激しくなっています。

考察

子ども会同士が合併しても活動が難しいとすれば、地区全域で自由に参加できる企画を考える方法もありますが、保護者が育成者となる現在のやり方は変えていく必要があります。

人数が多い子ども会はできる限り継続しながらも、地区としての育成の方法を見つけていきたいです。

考察

二日市や祇園祭りは地区全域で行われていますが、太鼓踊り等は自治会単位で行われているものが多く、保存についてはそれぞれの考え方が尊重されます。地区として支援する方法を考えるのであれば、連携するための組織を立ち上げる必要があります。



考察

地区公民館の利用者は限られていることがわかります。施設が狭く活用が限られていることもありますが、近隣の施設も活用しながら住民にとって楽しい居場所となるような企画を望む声が多いようです。

【8】 地区公民館は、今後どんな施設になって欲しいか

	女	%	男	%	なし	%	総計	%
講座を増やして	12	9.4	12	6.3	3	12.0	27	7.8
スポーツの充実	7	5.5	21	10.9	2	8.0	30	8.7
施設が狭い	5	3.9	11	5.7	2	8.0	18	5.2
広報の充実	32	25.2	37	19.3	4	16.0	73	21.2
土日の開放	6	4.7	7	3.6	1	4.0	14	4.1
イベントを増やして	24	18.9	24	12.5	3	12.0	51	14.8
自治会を助ける	22	17.3	50	26.0	11	44.0	83	24.1
課題解決の組織	24	18.9	47	24.5	11	44.0	82	23.8
今のままでよい	23	18.1	30	15.6	2	8.0	55	16.0
なくてもよい	4	3.1	16	8.3	1	4.0	21	6.1
わからない	22	17.3	30	15.6	3	12.0	55	16.0
その他	7	5.5	9	4.7	0	0.0	16	4.7
合計	188		294		43		525	

※に同じ

考察

「自治会を助ける」「課題解決の組織」という声が多いです。これまでは講座や貸し館など社会教育施設としての活動が行われてきましたが、自治会や子ども会の課題が山積する中で、これらの課題を解決する組織としての側面も必要になってきているようです。そのためにはどのような話し合いを持つ必要があるのか、今後検討していきたいです。

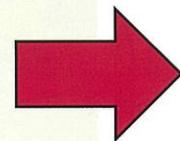
自由意見として前向きな考えも多数寄せられました。

- 1 老若男女が参加できるイベントをやってみては
- 2 地区が各自治会に出向いて話し合いを持ってみてはどうか
- 3 保護者に負担をかけずに子ども達が笑顔になる活動を
- 4 高齢者が楽しく集える場所が欲しい
- 5 空き家登録と移住者対策のしくみを地区でつくっていく
- 6 子ども達が故郷を思い出すような活動が必要
- 7 もっと対話の場を増やして、多くの人の意見を聞くべき
- 8 川辺の自然や歴史のよさを知る活動が必要
- 9 コンパクトながらも機能的な公民館に変えていく
- 10 子育て中の人も参加できる講座を
- 11 自治会への出前講座ができればいい
- 12 人口のわりに施設が狭い。各種施設の活用を



調査後の協議より

- ①自治会の課題は区で解決できているところもある。
- ②自治会長が意見交換をしたり情報収集ができる機能が必要
- ③子ども達の交流や体験のための新たな場が必要
- ④伝統芸能はまずは現状を把握した上での対策会議が必要
- ⑤地区公民館は生涯学習の推進役のみの活動組織になっている
- ⑥地区公民館と連携した課題解決のできる別組織が必要
- ⑦令和7年度から新たな組織づくりに関する話し合いを始める



川辺未来づくり会議

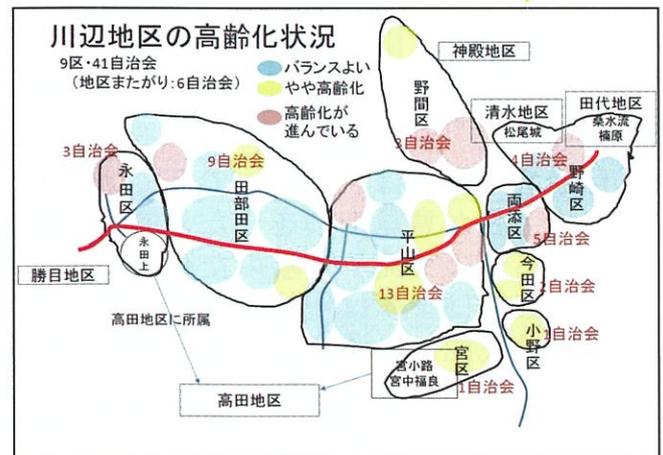
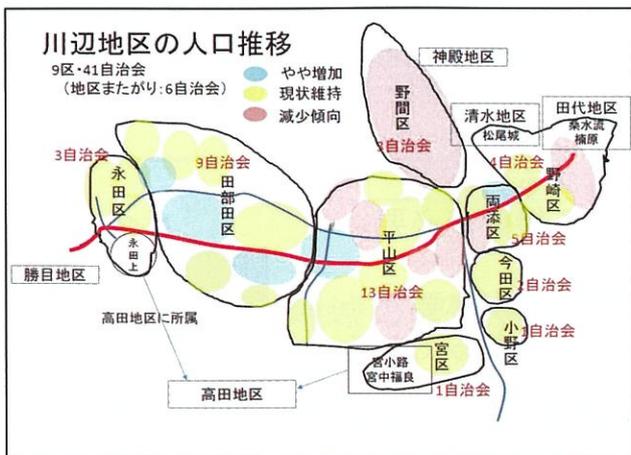
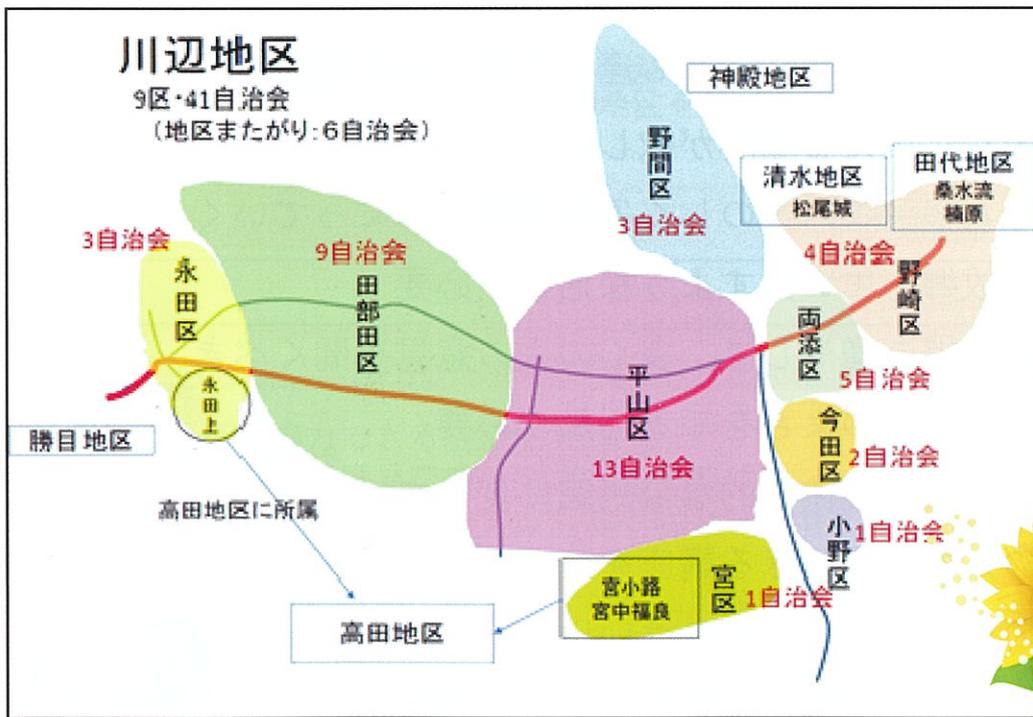
新たな地域コミュニティとは

地域コミュニティとは「自治会への加入・未加入を問わず、一定の区域に居住する住民一人一人を基礎とする、自治と共同性に充ちた地域生活集団」とされています。

南九州市では、地区公民館を地域コミュニティと考え、住民による自治活動を展開していますが、川辺地区は地区公民館の役割は生涯学習の推進が主体で、地域コミュニティとしての役割はまだ十分とはいえない状況にあります。

しかし、人口減少時代に入り地域コミュニティの果たす役割が大きくなってきていることを考えると、地区公民館にも早急にその機能をもたせる必要が見えてきました。

これから立ち上げようとする新たな地域コミュニティでは、「やりたい人」が企画し「参加したい人」が自由に活動できることを原則とします。自分達でできる範囲のことを、楽しみながら少しずつ広げていく形で小さなコミュニティを育てていきたいと考えています。



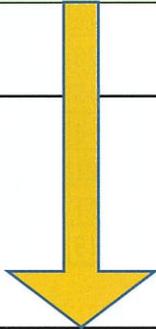
めざす組織像

- ① 地区内の青少年育成，スポーツ，文化歴史，産業，福祉などの各組織と連携できる人材で組織する。
- ② 前向きな考え方をもち，積極性のある人材で組織する。
- ③ 地区内の住民に限らず，川辺地区の将来に関心のある人材で組織する。
- ④ これまでの公民館活動にとらわれず，民間企業やNPO，移住者など多様な人材で組織する。
- ⑤ 少人数からスタートし，しだいに賛同者が集まるような協議を行う。
- ⑥ 協議の状況によってはグループ協議も行う。
- ⑦ 地区住民の総意としての計画書ができるようにする。
- ⑧ 定期的に地区公民館の役員会等に報告する

川辺地区公民館

— 総務部
— 青少年育成部
— 文化教養部
— 保健体育部
— 環境美化部

川辺未来づくり会議

- 
- ◇テーマごとに意識の高い人材を集める
 - ◇初めは少人数で
 - ◇特定の区や自治会に絞った取組も考えていく

【実行計画】

令和7年～令和8年

- ・未来づくり会議の組織づくりを行う
- ・地域課題の再調査を行う
- ・住民自主グループの現状を把握する
- ・未来づくり会議の専門チームの活動計画を作成する



令和9年度～令和11年度

- ・10年計画に基づき，やれることから挑戦する

令和12年度～令和16年度

- ・計画を再検討しながら，活動の担い手を増やしていく。